橋

三年

画数 16

筆順

オン キョウ

クン はし

成り立ち

頭がかたむいた人をあらわした〝夭〟と、高いことをあらわした〝高〟とを組み合わせて、「高くて頭がかたむいていること」をあらわした〝喬（コウとヨウがいっしょになるとキョウになります）〟と〝木〟とを組み合わせて作った字です。

喬は、「首をかしげる」「体をそりかえる」などのいみをあらわしますので、橋は、「川の上に高くかけた、そりかえった〝はし〟」をあらわした字です。〝たいこばし〟のことです。

たいこ橋は、とてもじょうぶなので、中国のむかしの橋はほとんどこれでした。それで〝橋〟という字が〝はし〟をだいひょうしたのです。

使い方

▽むかしは一本橋や丸木橋がどこへ行っても見られましたが、今はそれにかわって、広くて長い鉄橋がどこへ行ってもたくさんあります。

▽車の通りがはげしくなりましたので、前の通りにも歩道橋が作られました。

熟語例

▽一本橋（丸太〔えだを切りおとしただけの丸木〕を一本さしわたしただけのそまつな橋）

▽丸木橋（丸木をなん本かならべて作ったかんたんな橋）

▽鉄橋（「鉄で作られた橋」のこと。また、「鉄道の通っている橋」のこと。）

▽歩道橋（車がはげしく通る道の上にかけた、人が通るための橋）

▽陸橋（川ではなくて、陸の上にかけられた橋、といういみで、「鉄道の上にかけられた橋」や「道の上にかけられた橋」のこと。）

業

三年

画数 13

筆順

オン ギョウ・ゴウ

クン わざ

成り立ち

〝かね〟などの〝楽器〟をかける台の形をあらわした字です。むかしの中国の学問では、音楽がたいせつにされ、この〝業〟をととのえることが学習のはじまりをいみしました。それで、学習のことを〝学業〟というようになりました。例修業、卒業。

〝学業〟が「学問的な〝しごと〟」といういみにつかわれるようになりましたので、〝業〟は〝しごと〟といういみにつかわれるようになりました。例職業、商業、業務。

この字は、ふつう漢音のギョウで読みますが、仏教ではゴウと呉音で読み、「しあわせふしあわせのもとになる〝人間の行い〟」といういみにつかわれます。

使い方

▽長かった夏休みもおわって、あしたはいよいよ二学期の始業式です。

▽ぼくの家の職業は商業です。むかしからおかしを作って売っているお店です。

熟語例

▽始業式（学業を始めるにあたって行う儀式（式 3年 316））

▽学業（業とは〝しごと〟のいみ。学習というしごと、といういみのことばです。）

▽受業（「学業を受ける」といういみのことばですが〝学習する〟ことです。受業時間＝学習時間）

▽授業（「学業を授ける」といういみのことばですが〝学習〟、つまり〝受業〟と同じいみにつかいます。）

▽職業（職（5年 753）も業も同じく〝しごと〟といういみ。「くらしを立てるためのしごと」をいいます。）

▽家業（家が代々つづけてきた職業のこと。）

▽商業（商いの〝しごと〟。しなものを売ったり買ったりするしごと）

▽所業（し業。行い）